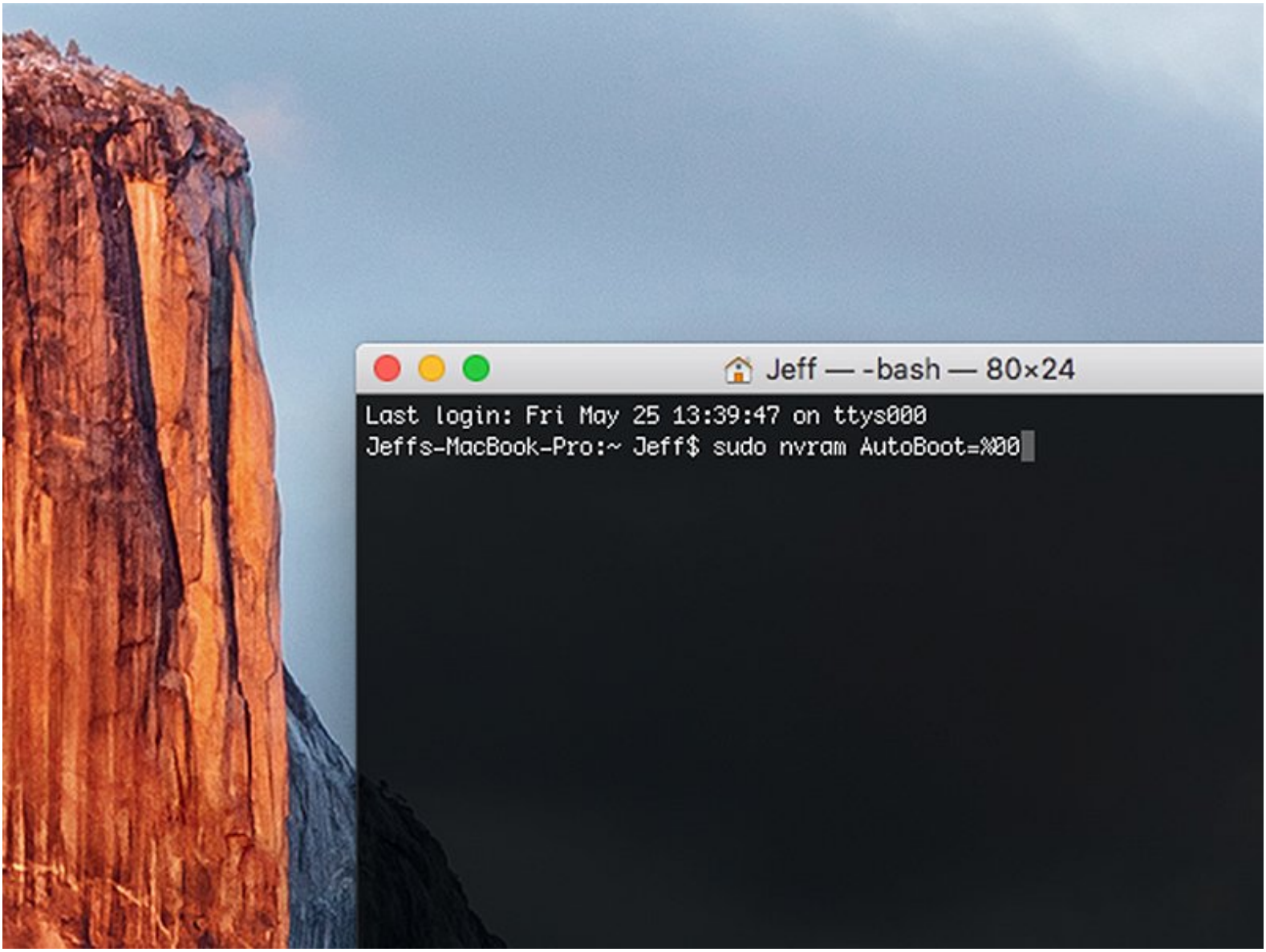
自動起動設定の無効化

自動起動を無効にし、修理が完了してから再び有効にするための前提条件のみのガイド。 これは、...

作成者: Jeff Suovanen



ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2023-03-16 01:21:22 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

はじめに

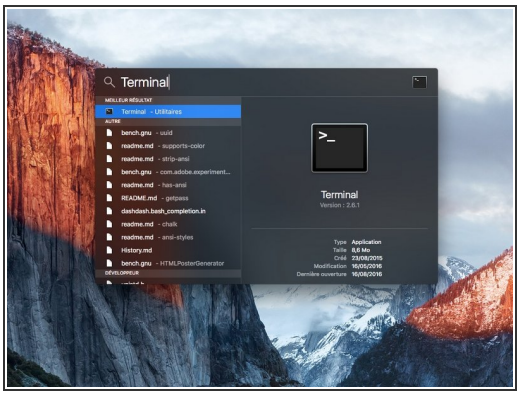
自動起動を無効にし、修理が完了してから再び有効にするための前提条件のみのガイド。 これは、自動起動を無効にする方法の短縮版です。

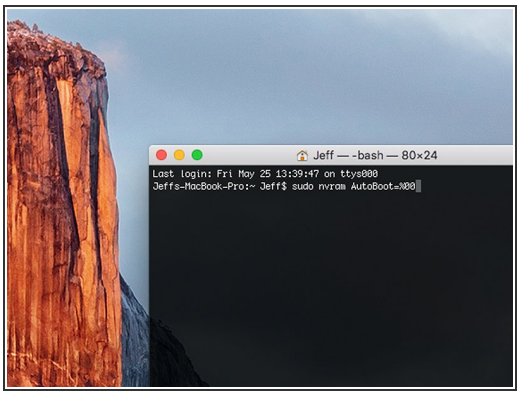
自動起動機能は、画面を開くとすぐにMacの電源を入れるため、特定の修理を行う前に無効にする必要があります。 自動起動は、2016年以降のMacBook Proと2017年以降の12インチMacBookに搭載されています。

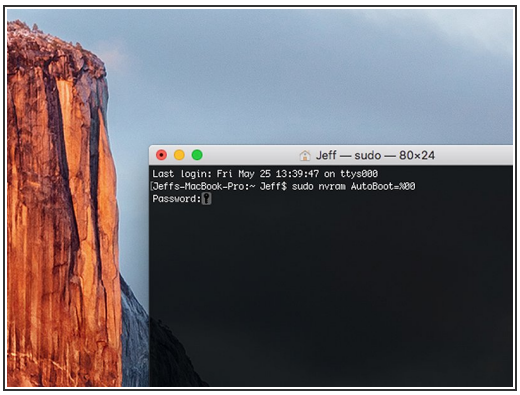
Note: 自動起動を無効化すると、2020年後半に発売されたAppleの最新ARMベースのM1 MacBook ProまたはMacBook Airでは機能しない可能性があります。現時点では、Big Sur v11.1以降を搭載したデバイスで自動起動を無効にする方法は分かっていません。

ã“ã®æ–‡æ›¸ã¯2023-03-16 01:21:22 AM (MST)ã«ä½œæˆã•ã‚Œã¾ã—ãŸã€‚

手順 1 — Auto Bootを無効化する







この手順を開始する前に、Macの**自動起動**機能を無効にする必要があります。蓋を開くと、Macの自動起動によって分解中に誤って起動される場合があります。 この手順に従うか、以下の簡略化された指示に従って自動起動を無効にします。*このコマンドは全てのMacに応答するわけではありません。*

- Macを起動し、**ターミナル**を開きます。
- 以下のコマンドをターミナルにコピー(または正確にタイプ)します。
  - **sudo nvram AutoBoot=%00**
- **[return]**キーを押します。パスワードを求められたら、管理者パスワードを入力し、 **[return]**キーを再度押します。*補足: [return]キーは ⏎ や "enter"として印字されている場合もあります。*

これで、誤って電源が入ることなく、安全にMacの電源を切り、底面カバーを開くことができます。

修理が完了し、完全に組み上げられた際には、以下のコマンドで再度自動起動を有効化してください。

- **sudo nvram AutoBoot=%03**

これで決まりです！

© iFixit — CC BY-NC-SA